

FREE 金曜フリースペース

歩行器や杖を使わずに歩こうとする男性を後ろから見守る中平武志さん

(写真はいずれも高知市大津の「幸のつどい」)



「利用者のため」模索の1年

「夢あきらめる主人公いない」

講義が終わると、午後から県庁へ。 「介護施設をつくりたいんです」。昨年4月。 現場経験はゼロ。「自分で勉強してから来てください」と担当者。すぐあきらめの道はないの課を訪ねた。派遣先の自動車部品工場を辞め、か、と思ったのだが…。

ヘルパーの資格講座に通っているという。介護の

■知事に会いたい

この秋で開設1周年を迎えた事業所。80代の男性が杖について飲み物を入れに行く。席に戻る男性が、ドリンクコーナーの脇に杖を置き忘れていた。「ほら、杖なしで歩いてる」。中平さんが顔をくしゃくしゃにして笑う。

中平さんは、「できることは利用者が対面した秘書課の職員は厳しかった」。

「現場で努力もせずに近道したらいいかん。君は知事の評価を得たいのか。違うだろ。理想の介護で、利用者に喜んでもらいたいがやろ。まあ、自分でやってみい」

「団星だったからか。途中から涙がでだか分からぬが涙がこぼれた」。

「自分の施設実習。杖(つえ)をついて歩こうとする男性を職員がにらみつけ、「危ないきやめて。じつと座っちゃって」と怒鳴った。

「自分で歩こうとしてる人が、なんで怒られるが?」

しかし、貯金はすぐに底を突いて、介護現場を1年余り経験した今なにかしら、「過介護」をしないことに努めている。09年1月。失業保険の訓練延長の施設や職員の存在が分かる。だ

ただ、どれだけ頭を下げても、崇高な理想だけでは十分な融資は受けられない。両親に10万円の出資を頼んだ。さらに追加で500万円。父がタクシー運転手や契約工でためたお金が「重い」と感じた。

2日に一度のペースで通った。介護保険法など関連法令や許認可の手続きなども勉強。理想の介護をA4用紙15枚の論文にまとめ、「知事に会わせてほしい」と秘書課へも行った。理念に知事が賛同してくれれば、許認可などがスムーズに進むべきなども話し合った。2時間働く10分休憩を削った。2時間働く10分休憩の繰り返し。早く時間が過ぎないかとばかり考えていた。派遣会社が変わるもので4年間、時給はずつと80円だったが、不満はなかった。

2008年の秋口。リーマン・ショックという言葉を耳にした。生産台数が落ち込み、派遣従業員が減らされるという。「今なら会社側の都合ということで辞められるよ」と派遣会社。失業保険が早めに入るとあつて、退職を選んだ。

しかしその後、中平さんは高知高専を18歳で中退。「人の評価ばかり気にして勉強してた。これからは徹底的に遊び始めた。これが深く、のめり込んだ。模擬銃を撃ち合つ「サバゲー」(サバイバルゲーム)に熱中し、アニメの「コミケ」(コミックマーケット)やコスプレを学び始めた。

中平さんは高知高専を18歳で中退。「人の評価ばかり気にして勉強してた。これからは徹底的に遊び始めた。これが深く、のめり込んだ。模擬銃を撃ち合つ「サバゲー」(サバイバルゲーム)に熱中し、アニメの「コミケ」(コミックマーケット)やコスプレを学び始めた。

元「サバゲー」青年、中平武志さん(高知市)

高知市大津乙。コンビニを改装したデイサービス事業所「幸のつどい」。70~90代の男女6人がいすに座って手を伸ばしたり、体をねじったり。輪の中心で手本を見せるのは、事業所長の中平武志さん(28)。自の顔にかかる。

中平さんが同事業所を開所したのは、半年前。それまでに介護現場で勤務したこととは一切なかった。

■遊ぶために働く
中平さんは高知高専を18歳で中退。中平さんは「自分で歩くことは利用者が対面した秘書課の職員は厳しかった」。

■なんで怒られるが?
中平さんは高知高専を18歳で中退。「人の評価ばかり気にして勉強してた。これからは徹底的に遊び始めた。これが深く、のめり込んだ。模擬銃を撃ち合つ「サバゲー」(サバイバルゲーム)に熱中し、アニメの「コミケ」(コミックマーケット)やコスプレを学び始めた。

派遣社員→失業→介護実習20日→半年後に実現

とがつた理想を実現しようと、まつすぐ走り始めた。

■杖なしでも歩ける

所。80代の男性が杖について飲み物を入れに行く。席に戻る男性が、ドリンクコーナーの脇に杖を置き忘れていた。「ほら、杖なしで歩いてる」。中平さんが顔をくしゃくしゃにして笑う。

中平さんは、「できることは利用者が対面した秘書課の職員は厳しかった」。

講義が終わると、午後から県庁へ。 「介護施設をつくりたいんです」。2日に一度のペースで通った。介護保険法など関連法令や許認可の手続

いて笑う。

中平さんは、「できることは利用者が対面した秘書課の職員は厳しかった」。

講義が終わると、午後から県庁へ。 「介護施設をつくりたいんです」。2日に一度のペースで通った。介護保険法など関連法令や許認可の手続

いて笑う。